

講 評

単写真部門 テーマ「笑顔」 新原 正人

今回は、特に「笑顔」というテーマにおける表現力とストーリー性に焦点を当てた審査基準としましたが、「笑顔は連鎖する」、「笑顔は人を元気にする」という言葉が示すとおり、応募のあったすべての作品がそれを表していて、笑顔の瞬間を見事に捉えていた秀逸な作品ばかりでした。

中でも最優秀賞に輝いた「笑顔のゴール」は、技術はさることながら、ゴール時の達成感と安堵感がにじむ柔らかい表情を見事に捉えています。達成感の象徴となるゴールテープの存在が効果的に機能し、被写体のゴール時の感動が伝わってくる作品でした。

続いて、優秀賞の「世界一の特等席」は、カメラを片手にランナーと並走する姿がほほ笑ましく、二人の間にある良好な関係が前面に出ている作品で、ゴール後のやり取りの情景まで浮かぶような心温まる作品でした。さらに、撮影者が伝えたい二人の親密性を見事に表した「世界一の特等席」というタイトルも作品の表情を豊かにしています。こういったタイトルのつけ方もぜひ参考にしたいものです。また、審査員特別賞の「笑顔笑顔笑顔♡」は、沿道に並ぶ笑顔を切り取っており、本大会における笑顔の多さをあらためて実感させてくれました。こういった沿道の観客やスタッフの表情に焦点を当ててるのもおもしろいと思います。

惜しくも受賞を逃した作品も素晴らしいものばかりで、被写体の魅力を十分に引き出した多様な視点と豊かな表現に審査過程では本当に苦労しました。切り取ったその瞬間が表すストーリー性や撮影者の感動を伝えるための背景の選択、タイトルへのこだわりも意識するとまた違った表現につながると思います。次回もまた、多くの素敵な作品が生まれることを願っています。ありがとうございました。

単写真部門 テーマ「全力の〇〇」 伊藤 郁美

『全力の〇〇』部門は、数多くの作品をお寄せいただき活発なご参加となりました。

ありがとうございました。応募作品どの作品も、汗の飛沫、ゼッケンの躍動など、視覚的なインパクトに優れた作品が目立ち、レベルの高い作品ばかりで、選考に大変苦労いたしました。特に、ゴールテープを越える瞬間の感情を爆発させる瞬間の作品が多く、人間の極限と歓喜をテーマ通りに体現されていて、さまざまな視点から捉えられた作品群に、審査する喜びを感じました。このテーマを通じて、人生の『全力』を写真で讃える喜びを共有できました。

惜しくも落選した作品も多数ありましたが、写真コンテストは参加者の皆さまの支えがあって輝きます。こうした温かい繋がりが、みまたん霧島パノラマをより素敵なものになっています。是非次回も、このように素晴らしい作品をお待ちしております、どうぞよろしくお祈いします。

ここからは、入選作の細部に触れていきます。

最優秀賞「全力の雄叫び」

この写真は、ゴール直後のランナーの歓喜の瞬間をダイナミックに捉えた力作です。感情の高ぶりと達成感がストレートに伝わる点を高く評価します。

また、両手を高く上げ、口を開けて叫ぶような表情が、ゴール達成の喜びを爆発的に表現されてい

て、ドラマチックです。左右対称に腕を広げ、背景の観客をぼかしてフレームを埋め尽くすバランスがととても良く、余白を最小限に抑えた迫力ある作品です。

優秀賞「全力の Goal in!」

この写真は、やりきった表情と全身の動きが、努力の果ての喜びをストレートに伝え、心を揺さぶります。スポーツ写真の「決定的瞬間」を体現しており、黒いユニフォームとピンクの旗、青空のコントラストが視覚的に強く、躍動感を感じます。ランナーと同じ高さからのローアングル寄り構図で、ゴールテープを切る「まさにその瞬間」を観客目線で共有でき、威圧感なく感情移入しやすい、イベントの臨場感を立体的に伝える作品です。

SNS 部門 テーマ「大会紹介」 南九州大学写真同好会

今回から新設となった SNS 部門のテーマ「大会紹介」、SNS を活用した自由で新たな作品の発現となりました。その自由な表現の中で様々な作品の投稿ありがとうございました。今回最優秀賞とられた「singo_runlife」様、優秀賞とられた「kirahp1212」様誠におめでとうございます。先ほども述べた通り、SNS 部門は自由な創作性が求められます。写真に囚われることなく様々な形で大会を表現することが可能です。お二人はその自由な表現の中で大会紹介というテーマによく合致されていたと思います。また、惜しくも入賞を果たせなかった方々の作品も大会紹介として素晴らしい作品が数多く拝見出来ました。改めて SNS 部門という新たな発信の場の可能性を感じる良き大会であったと感じます。SNS 部門に投稿をしてくださった皆様、入賞とられた皆様、沢山の投稿誠にありがとうございました。

SNS 部門 テーマ「記録」 南九州大学写真同好会

今回記録を審査するにあたり、採点基準として大きかった項目が「テーマに対しての適合性」と、「テーマの表現性」でした。皆様が1枚の写真の中でどのようにテーマを表現するのか、投稿を確認するたびにワクワクした気持ちになりました。このワクワクこそ、人の気持ちを動かす素晴らしい写真なのではないかと私は感じます。その中で最優秀賞に輝いた「fumi864」様の作品には特に人の心を動かす独自の表現性が感じられました。私自身も当日現地へ赴き、次々に完走を果たすランナーの方たちを間近で見えていましたが、ランナーの方たちのやりきった表情や、周りの人たちの歓声など何にも代えがたい高揚感が現地には漂っていませんでした。そのような瞬間を切り取り、見る人に伝えることは写真ではなかなか難しいものがあります。しかし、それを表現できた時人々が感動する、人の感情を動かす素晴らしい作品となると考えます。最優秀賞とられた「fumi864」様の写真にはその気迫が存分に感じられました。また、惜しくも入賞を逃した方たちの作品にその独自性や気迫がなかったわけではありません。先ほども述べた通り、皆様の写真を拝見して毎回素晴らしい、ワクワクすると本当に思えました。皆様の写真の表現性の高さに感動いたしました。今年から新設となった SNS 部門、ぜひ来年以降も皆様の作品を見たいと強く思える、そんな素晴らしい審査でした。投稿してくださった皆様、本当にありがとうございました。皆様の写真を拝見できたこと大変うれしく思います。